

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning documents *will not* correct images,
Please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 特 許 公 報 (B 2)

(11) 特許番号

第2769989号

(45) 発行日 平成10年(1998) 6月25日

(24) 登録日 平成10年(1998) 4月17日

(51) Int.Cl.⁸

識別記号

F I

G 0 6 F 17/50

G 0 6 F 15/60

6 8 0 Z

6 1 0 C

6 1 4 Z

請求項の数 3 (全 12 頁)

(21) 出願番号 特願平7-99688

(22) 出願日 平成7年(1995) 3月30日

(65) 公開番号 特開平8-272850

(43) 公開日 平成8年(1996) 10月18日

審査請求日 平成7年(1995) 5月11日

(73) 特許権者 394025430

株式会社ティアンドアソシエツ

大阪府大阪市中央区心斎橋筋1丁目3番

2号 (橋栄ビル)

(73) 特許権者 394025544

有限会社ユニックスデザインオフィス

大阪府大阪市西区九条南4丁目14番14号

(72) 発明者 中内 淑文

大阪府大阪市西区九条南4丁目14番14号

有限会社ユニックスデザインオフィス

内

(74) 代理人 弁理士 福島 三雄 (外1名)

審査官 岡本 俊威

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 車両外装パーツセレクト装置

1

(57) 【特許請求の範囲】

【請求項1】 ボディカラー毎に区別される車両名C A R_i と、外装パーツの種別W H_j とで特定される二次元配列M T (C A R_i , W H_j) を備え、この二次元配列中に統計データを格納しつつ動作する外装パーツセレクト装置であって、

車種とそのボディカラーとを特定する車両特定手段と、特定された車両に装着可能な外装パーツを選択して、選択された全ての外装パーツの立体形状を表示するパーツ表示手段と、

表示された外装パーツについて、適宜な操作にตอบสนองして、いずれか一つを選択するパーツ選択手段と、選択された外装パーツの立体画像データと、特定された前記車両の立体画像データとを組み合わせて、外装パーツ装着状態の車両のカラー画像を表示する車両表示手段

2

と、

この車両表示手段による表示中に動作して、装着されている外装パーツのサイズとカラーとを順次に変更する細部変更手段と、

前記車両表示手段によって車両のカラー画像が表示される毎に動作して、前記二次元配列の統計データを更新する統計データ更新手段と、

前記車両表示手段による表示中の外装パーツについて、適宜な操作にตอบสนองして、その詳細な情報を表示するパーツ詳細情報表示手段と、

を備えることを特徴とする車両外装パーツセレクト装置。

【請求項2】 前記外装パーツは、タイヤホイールである請求項1に記載の車両外装パーツセレクト装置。

【請求項3】 前記統計データの1つは、特定車両C A

10

R_iと特定タイヤホイールWH_jの組合せが表示された表示回数X_iである請求項2に記載のホイールセレクト装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は、リアウイング、キャリア、タイヤホイールなどの車両外装パーツを購入する場合に操作される外装パーツセレクト装置に関し、特に、各種のタイヤホイールが自己の車に装着された状態をカラー画像で確認しつつ商品を選択できるホイールセレクト装置に関する。

【0002】

【従来の技術および発明が解決しようとする課題】車両外装パーツのうち、例えばタイヤホイールについて説明すると、各車両に標準的に装着されているタイヤホイールではデザインの面白みに欠けるので、自分の好みであったタイヤホイールに変更したい場合がある。また、運転性能をより向上させるため、タイヤホイールとタイヤとを変更したい場合もある。かかる要請に基づき、各メーカからは多種類のタイヤホイールが提供されているが、各商品が全ての車に装着できる訳ではなく、タイヤホイールと車との組み合わせには一定の制約があるのが実情である。また、物理的には装着可能なホイールであっても、車とホイールのデザインの整合性などの関係から、不適切な組み合わせとなる場合もある。

【0003】このように、自分の車に最適なホイールを選択することは容易でないのであるが、従来は、ホイールを選択のための適切な支援装置がなかったので大変不便であった。そのため、顧客は、必ずしも満足感をもってタイヤホイールを購入しているとは限らず、よって、ホイール製造者やホイール販売者にとっても、顧客の真のニーズを適切に把握できないことになり、最適な製造計画や販売計画を立てることができないという問題点があった。この問題点はタイヤホイールに限ったものではなく、他の外装パーツ、例えばリアウイング、フロントウイング、キャリアなどにおいても同様であった。この発明は、この問題点に着目してなされたものであって、顧客にとっては最適な外装パーツを容易に選択することができ、一方、外装パーツの製造者などにとっては顧客のニーズを適切に知ることのできる車両外装パーツセレクト装置を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】上記の目的を達成する為、この発明に係る外装パーツセレクト装置は、ボディカラー毎に区別される車両名CAR_iと、外装パーツの種別WH_jとで特定される二次元配列MT (CAR_i, WH_j)を備え、この二次元配列中に統計データを格納しつつ動作する外装パーツセレクト装置であって、①車種とそのボディカラーとを特定する車両特定手段と、②特定された車両に装着可能な外装パーツを選択して、選

択された全ての外装パーツの立体形状を表示するパーツ表示手段と、③表示された外装パーツについて、適宜な操作に応答して、いずれか一つを選択するパーツ選択手段と、④選択された外装パーツの立体画像データと、特定された前記車両の立体画像データとを組み合わせ、外装パーツ装着状態の車両のカラー画像を表示する車両表示手段と、⑤この車両表示手段による表示中に動作して、装着されている外装パーツのサイズとカラーとを順次に変更する細部変更手段と、⑥前記車両表示手段によって車両のカラー画像が表示される毎に動作して、前記二次元配列の統計データを更新する統計データ更新手段と、⑦前記車両表示手段による表示中の外装パーツについて、適宜な操作に応答して、その詳細な情報を表示するパーツ詳細情報表示手段とを特徴的に備えている。外装パーツとは、典型的にはタイヤホイールであり、スチールホイールと軽合金ホイール（アルミニウムやマグネシウム）のうち、特に、アルミホイールの販売に用いると好適である。このホイールセレクト装置においては、ボディカラー毎に区別される車両名CAR_iと、タイヤホイールの種別WH_jとで特定される二次元配列MT (CAR_i, WH_j)を備えるが、統計データとは、例えば、特定車両CAR_iと特定タイヤホイールWH_jの組合せが表示された表示回数X_iが該当する。

【0005】

【実施例】以下、実施例に基づいて、この発明を更に詳細に説明する。図1は、この発明の一実施例であるホイールセレクト装置の斜視図を示したものであり、図2は、図1のホイールセレクト装置の内部構成を示したブロック図である。このホイールセレクト装置は、各種のカラー画像を表示する表示部1と、表示部1が押圧された場合にその接触位置を検知するタッチパネル2と、フレキシブルディスクFDとのデータ授受を行うFD入出力部3と、コンパクトディスクCDのデータを読み取るCD読取部4と、タッチパネル2の操作などを支援する発声部5と、プログラムや各種データを記憶する記憶部6と、この装置の動作全体を制御するCPU7などで構成されている。記憶部6は、ハードディスクHDや光ディスクなどで構成されており、コンパクトディスクCDなどから読み取られた大量のデータが記憶できるようになっている。また、本装置は、通信回線を介して別のコンピュータと接続するようにしても良く、その場合にはインターフェース回路である通信部8が装備される。なお、このホイールセレクト装置は、典型的には、ホイールなどの販売店に設置されるものであり、FD入出力部3、CD読取部4、記憶部6、CPU7、及び通信部8は、全て、装置内部に収容されている。

【0006】図3、図4は、ハードディスクHD（記憶部6）に記憶されているデータ内容を概略的に示したものである。すなわち、本装置には、ホイール画像データG1と、ホイール詳細画像データG2と、車種画像デー

タG3と、第1画面データDISP1と、第2画面データDISP2と、第3画面データDISP3と、対応表データTBLなどが記憶されている。ホイール画像データG1は、購入可能なタイヤホイールの立体形状を、商品名と共に表示するためのカラー画像データであり(図12参照)、図3のように、商品名に対応させて順次に記憶されている。ホイール詳細画像データG2は、各タイヤホイールについての詳細なデータであって、ホイール画像データG1より詳細なホイール立体形状や、各ホイールのカラーバリエーションのカラー画像や、各ホイールの販売価格などのデータが該当する(図14参照)。車種画像データG3は、ホイール購入者(顧客)が所有しているだろうと考えられる車種についての立体形状を示すカラー画像データである(図12、図13参照)。そして、車種画像データG3のホイール部にホイール画像データG1がはめ込まれると車種画像が完成されるようになっている。

【0007】第1画面データDISP1、第2画面データDISP2、第3画面データDISP3は、それぞれ、初期画面(図9参照)、製造メーカー名(図10参照)、車種名(図11参照)を表現する画像データである。なお、以上の画像データのうち、G1、G2、G3、DISP2、DISP3は、一定期間ごとに更新(UD)されて追加又は削除されるようになっている。対応表データTBLは、車種名CAR、と、その車種に装着できるタイヤホイール名WH、とで特定される二次元配列データであって、図5の対応表を記憶したものである。図5について説明すると、この対応表は、大別して、車種CAR、に関する第1欄COL1とホイールWH、に関する第2欄COL2とからなる。第1欄COL1は、「製造メーカー名」と、各製造メーカーから命名された「車種名」と、その車種の「ボディカラー」と、その車種に装着可能なタイヤホイールの「SIZサイズ」

(外径インチ数)の欄に分かれている。第1欄COL1について一例を挙げると、A社の車「〇〇〇」のボディカラーは、典型的には、白色、黒色、または銀色であり、15、16、又は17インチ径のホイールを装着できることを示している。

【0008】一方、図5の第2欄COL2は、タイヤホイールの「商品名」をホイールの色毎に区別して表示している。A社の車「〇〇〇」に関して具体例を続けると、車「〇〇〇」に15インチのホイールを装着しようとするれば、選択可能な商品は、RACING-PEAKSのシルバースIL、RACING-SのシルバースIL、RACING-SのフォーミュラブラックBLK、RACING-SのレーシングレッドRED、RACING-SのツーリングホワイトWHT、……等々であり、例えば、WINSOME-CX(シルバースIL)は装着できないことを示している。以上の通り、対応表データTBLは、車種名CAR、と装着可能なタイヤホ

イール名WH、とを対応させたテーブルデータであり、新商品の提供や商品の製造中止などに応じて、画像データG1、G2、G3、DISP2、DISP3を変更するとき、これに合わせて適宜に変更される。

【0009】続いて、以上の構成からなるホイールセレクト装置について、図6～図7のフローチャートに従って動作内容を説明する。電源が投入されると、表示部1には初期画面が表示される(ST1、ST2)。具体的には、第1画面データDISP1が表示されて表示部1が図9の状態となる。なお、図9の初期画面は、適宜な動画であって、発声部5からは、音楽と共に簡単な紹介メッセージが出力されている。この状態において、顧客が初期画面中央の「START」の文字に触れると、CPU7は、タッチパネル2を介してその操作を認識して、表示部1に図10の画面を表示させる(ST3)。図10の画面は、第2画面データDISP2に基づくものであるが、この装置に登録されている全車種についてのメーカー名が表示される。なお、この状態でも、適宜な音楽などが発声部5から流れている。

【0010】図10の状態では、顧客が自分の車(購入予定も含む)のメーカー名に触れると、CPU7は、タッチパネル2を介してその操作を認識して次の処理(ST4)に移行する。なお、図10の画面右上には、「前の画面へ」と「終了」の表示があり、これに触れると、一つ以前の表示画面に戻るか、処理が強制終了されて初期画面に戻るようになっている。なお、「前の画面へ」と「終了」の表示の意味は、以下の場合も全く同様である。図10の状態では、自分の車のメーカー名が選択されると、表示部1は、図11の状態となり、選択されたメーカー名における車種名が、例えば、価格の高い順に表示される(ST4、ST5)。また、各車種名に対応して、その車の代表的なボディカラーが矩形状の枠の着色によって示される。この図11の表示は、車種名画像データDISP3に基づくものであるが、車種はその種類が多いので、通常は、1枚の画面には表示し切れない。そこで、数ページに分けて表示することとし、顧客が画面下の「前のページへ」「次のページへ」に触れると、改ページ処理がされるようになっている。なお、図11は1ページ目の画面であるので「前のページへ」の表示は存在しない。

【0011】図11の状態では、車種と、そのボディカラーが選択されると、CPU7は、該当する車種画像データG3を選択して、顧客の車の画像を表示部1に表示させる。その後、CPU7は、対応表データTBLをアクセスして、顧客の車種に装着可能なタイヤホイールを選出し、選出されたタイヤホイールの画像データG1に基づいて、表示部1にホイール形状を重ね書きする(ST6)。この時にも、装着可能なタイヤホイールの数が多い場合には、画面下に「前のページへ」「次のページへ」の文字を表示させて、顧客の操作に応答して改ペー

ジ処理を行う。図12の状態、顧客がホイールの選択を行うと(ST7)、CPU7は、選択されたホイールの画像データG1を、顧客の車両の画像データG3のホイール部に加えて、ホイール装着状態の画像を表示部1に表示させる(ST8)。図13は、この状態を図示したものであり、顧客は、購入検討中のホイールが自己の車に装着された状態を目視確認することができる。

【0012】図13の状態では、画面下に「サイズ××変更」「カラー×××変更」の表示がされており、顧客が「変更」の部分に触れると、ホイールの「サイズ」やホイールの「カラー」が対応表TBLの範囲内で変更される。例えば、図5の対応表に則して説明すると、車「〇〇〇」についてのタイヤホイール「RACING-S」の場合には、「変更」の部分に触れるごとに、ホイールのカラーが「シルバー」⇒「ブラック」⇒「レッド」⇒「ホワイト」と循環的に変更され、また、ホイールの形状が「15」⇒「16」⇒「17」⇒「15」のサイズのものに循環的に変更される。なお、ホイールの画像が変更されるのに合わせて××の部分の数字や文字も変更される。

【0013】このように顧客は、ホイールが自己の車に装着された状態を確認しつつホイールの購入を検討することができるが、ホイール装着状態の画像が表示部1に表示される毎に統計データが更新される。ここで統計データとは、図8のような二次元配列テーブルに記載される表示回数データ X_{ij} であり、「ボディカラーが何色の、どの車種」 CAR_i において、「何色の、どのホイール」 WH_j が選ばれたかを示すデータである。図8に示す通り、ここでは、同じ車種でもボディカラーが異なれば別の車両 CAR_i と扱い、同様に、同じホイールでも色が異なれば別のホイール WH_j と扱うこととする。そして、表示回数 X_{ij} とは、 CAR_i と WH_j の組み合わせが表示部1に表示された回数を示している。なお、表示回数 X_{ij} に加えて、表示時刻帯 Y_{ij} や延べ表示時間 Y_{ij} を更新するようにしても良い。ここで、表示時刻帯 Y_{ij} とは、午前中 $Y_{ij}(1)$ 、正午前後 $Y_{ij}(2)$ 、午後 $Y_{ij}(3)$ 、夕方 $Y_{ij}(4)$ 、夜間 $Y_{ij}(5)$ 、深夜 $Y_{ij}(6)$ などの時間帯 $Y_{ij}(k)$ を予め決めておき、表示回数 X_{ij} の分布状態を調べるための統計データである。

【0014】また、延べ表示時間 Y_{ij} とは、 CAR_i と WH_j の組み合わせが表示部1に表示された延べ時間を示している。表示回数 X_{ij} が同じでも、表示時間 Y_{ij} が長い場合は、顧客にとって $CAR_i \times WH_j$ の注目度が高いとも考えられるので、表示回数 X_{ij} と表示時間 Y_{ij} の統計データには意義がある。なお、後述するように、一定時間、顧客が表示部1に対して何の操作もしなければ、表示時間 Y_{ij} を適宜に減算して初期画面に戻るようになっているので、顧客が図13の状態

は生じない。

【0015】ところで、図13の状態では、画面下に「ホイール変更」と「ホイール拡大」の表示があり、それぞれ、別のホイールの装着状態を見たい場合(ST9)や、現在表示中のホイールの詳細情報を知りたい場合(ST10)に押圧される。例えば、顧客が画面の「ホイール変更」に触れると、処理はST6の状態(図12)に戻るので、改めて所望するホイールを選択して(ST7)そのホイールの装着状態を見ることができる(ST8)。このような確認作業の結果、気に入ったホイールが見つければ、顧客は、画面の「ホイール拡大」に触れることになる。すると、表示部1の表示は図14の状態となり、中央部には選択されたホイールの拡大画像が、左上部には当該ホイールのSIZE別の価格が、また、右下部には当該ホイールのカラーバリエーションが、それぞれ表示される(ST11)。なお、図14の画像は、ホイール詳細画像データG2に基づくものであり、カラーバリエーションについてもホイールが着色されて表示される。なお、この状態まで進んだ場合には、顧客の当該商品(CAR_i についての WH_j)に対する関心度がかかなり高いと考えられるので、図14の画面が表示された回数 X_{ij} と時間 Y_{ij} についても、図8の二次元テーブルに記憶するようにしても良い。

【0016】図14の状態において、価格などの問題から別のホイールを調べたい場合もあるが、そのときには、右下部の「一覧表示」に触れば良い(ST12)。すると、ST6の処理に戻り、画面が図12の状態になるので、改めて別のホイールを選択して(ST7)、その装着状態を確認することができる(ST8)。また、図14の状態において、そのホイールが自分の車に装着された状態をもう一度見たい場合もあるが、そのときには、左下部の「装着状態」に触れば良い(ST13)。すると、ST8の処理に戻り、画面が図13の状態になるので、当該ホイールについての最終的な判断をすることができる。

【0017】以上、ステップST13までの操作によって一応の処理が完了するが、必要があれば、ステップST14～ST15の処理を追加しても良い。すなわち、ステップST13までの操作を経た後は、当該ホイールの購入について、ある程度、気持ちが固まっていると考えられるので、当該ホイールを購入したい気持ちがあるか否か(YES/NO)のアンケートに答えて、本装置の操作を終えても良い(ST14)。そして、購入の気持ちがある旨(YES)を答えた場合には、CPU7は、「ボディカラーが何色の、どの車種」 CAR_i において、「何色の、どのホイール」 WH_j について購入の気持ちがあるかの度数 Z_{ij} を一つ増加させるようにしても良い(ST15)。

【0018】以上のステップST1からステップST15の動作において、CPU7は、画面表示時間を常に管

理しており、顧客が一定時間（例えば5分）何の操作もしないときは、警告用の画面（図示せず）を表示して、「操作しないと初期画面に戻ります」との警告の後、30秒後に初期画面（ST1）に戻るようになっている。なお、延べ表示時間 Y_{i1} を計算している場合には、表示時間 Y_{i1} の値を適当な時間分だけ減算するなどの処理を行う。また、警告用の画面において「継続」の部分（図示せず）に触れると、更に一定時間、同じ画面が表示される。このホイールセレクト装置は、以上のように動作するが、一定期間（例えば2か月）毎に更新処理が行われ、統計データ（ X_{i1} 、 Y_{i1} 、 Z_{i1} など）の回収と画像データなどの更新が行われる。以下、図15のフローチャートにしたがって更新処理について説明する。

【0019】この更新処理は、一定期間毎に送付されてくるフレキシブルディスクFDとコンパクトディスクCDとを、FD入出力部3とCD読取部4に挿入することにより開始される。なお、コンパクトディスクCDには、最新の画像データなどが記憶されており、またフレキシブルディスクFDには、ハードディスクHDの画像データなどを書き換えるためのプログラムと、統計データを取り込むためのプログラムとが格納されている。更新処理においては、まず、統計データを取り込むためのプログラムが実行されて、ハードディスクHDに記憶されている統計データ（図8参照）がフレキシブルディスクFDに取り込まれる（ST20）。

【0020】次に、画像データなどを書き換えるためのプログラムが実行されて、対応表データTBLなどが更新される（ST21）。具体的には、図5の対応表や図8の二次元配列テーブルに、新発売の車種やホイールが追加され、販売中止の車種やホイールが削除される。この時、販売中止の車種やホイールだけでなく、顧客に人気のないホイールや、顧客が殆ど持っていないと思われる車種についても削除するのが望ましいが、不人気のホイールや車種については、統計データに基づいて適切な判断を下すことができる。また、余分な情報を削除することによって、表示画面は見やすくなり、且つ操作も容易となるので、顧客にとってより満足度の高い装置に高めることができる。図5の対応表や図8の二次元配列テーブルについての追加や削除が終わると、これに対応して、画像データについても変更する必要がある。そこで、次に、コンパクトディスクCDの画像データを読み込んで、ハードディスクHDの画像データの更新処理を行う（ST22）。

【0021】以上、単体のホイールセレクト装置をカーショップなどの店頭で配置する場合を説明したが、この発明はこれに限定されるものではない。例えば、通信部8を利用してカーショップ内部のコンピュータと接続し、統計データを転送するようにしても良い。この場合、各カーショップにおいて顧客のニーズが常に把握できると共に、画面のアクセス回数 X_{i1} や画面表示時間 Y_{i1}

など、実際に商品注文状況との比較をすることができて好ましい。また、この装置を利用して、カーショップからメーカー在庫の確認や商品の発注するのに使用しても良い。更にまた、本発明は、ホイールの選択に限らず、リアウイングなどの空力パーツや、キャリアなどのアクセサリパーツを選択する装置にも適用できる。

【0022】

【発明の効果】以上説明したように、この発明に係る車両外装パーツセレクト装置では、各種の外装パーツが自己の車に装着された状態をカラー画像で確認しつつ外装パーツを選択できる。また、統計データによって顧客のニーズを迅速かつ確実に知ることのできる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るホイールセレクト装置の斜視図である。

【図2】図1のホイールセレクト装置の内部ブロック図である。

【図3】画像データの記憶状態を概略的に図示したものである。

【図4】画像データなどの記憶状態を概略的に図示したものである。

【図5】対応表の一部を図示した図面である。

【図6】動作内容を説明するためのフローチャートの一部である。

【図7】動作内容を説明するためのフローチャートの一部である。

【図8】統計データ格納用の二次元テーブルを図示したものである。

【図9】初期画面を図示したものである。

【図10】第2画面を図示したものである。

【図11】第3画面を図示したものである。

【図12】ホイール選択用の画面を図示したものである。

【図13】ホイールが装着された状態の画面を図示したものである。

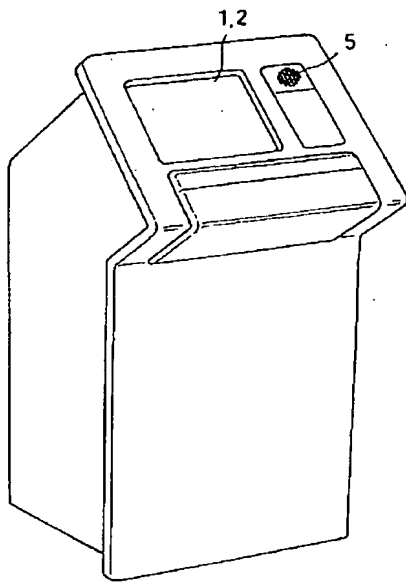
【図14】ホイールの詳細画面を図示したものである。

【図15】巡回処理を説明するためのフローチャートである。

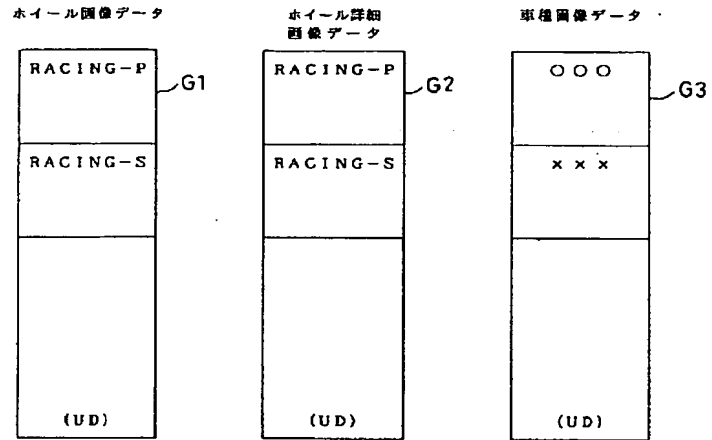
【符号の説明】

ST1～ST5	車両特定手段
ST6	パーツ表示手段
ST7	パーツ選択手段
ST8	車両表示手段
ST8	細部変更手段
ST11	パーツ詳細情報表示手段
CAR _i	車両
WH _i	タイヤホイール
X_{i1} 、 Y_{i1} 、 Z_{i1}	統計データ

【圖 1】

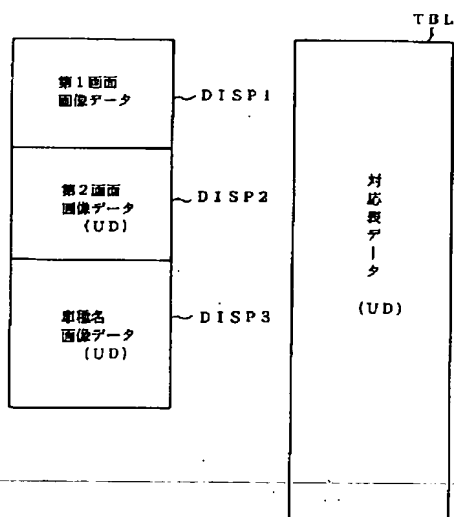


【圖 3】

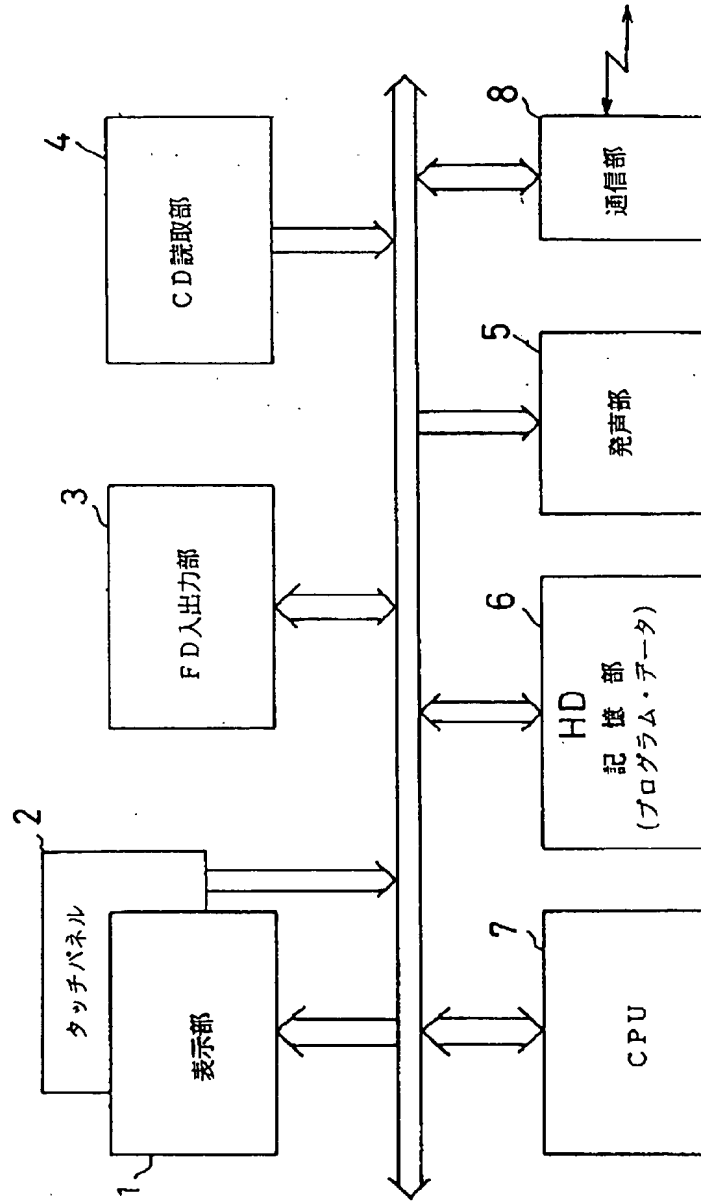


【図5】

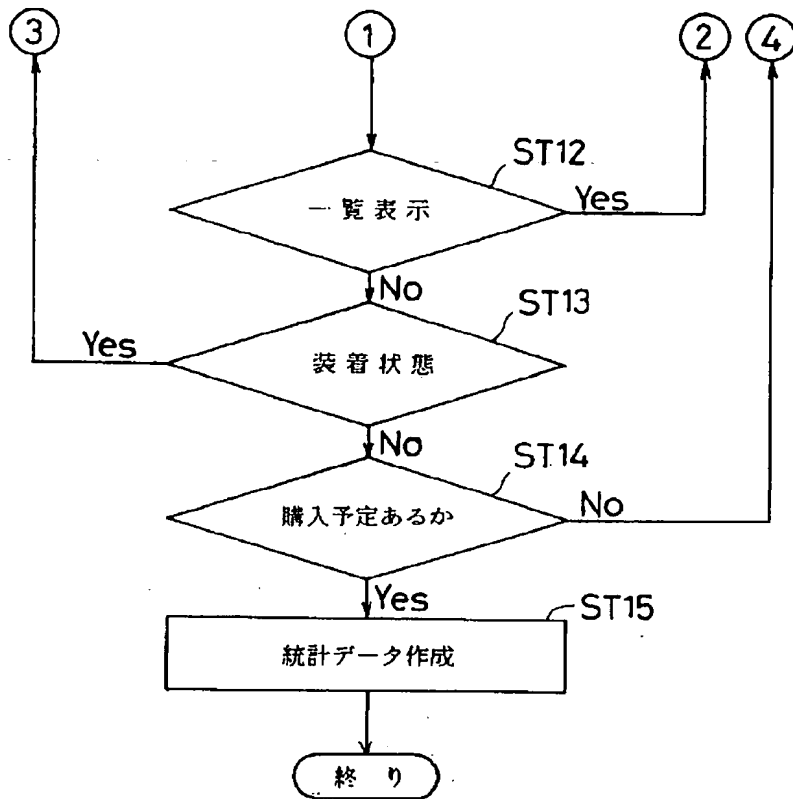
【図 4】

[illegible]

【図2】



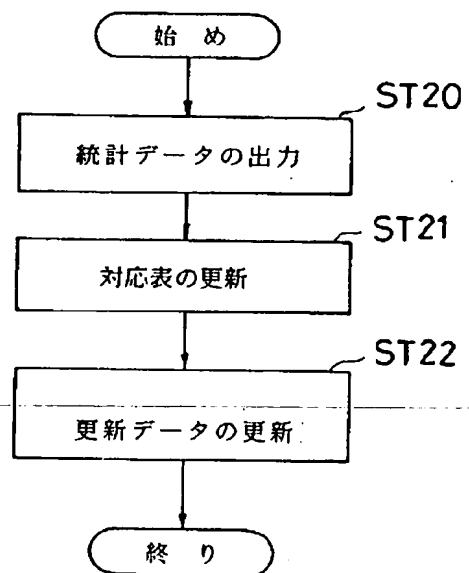
【図7】



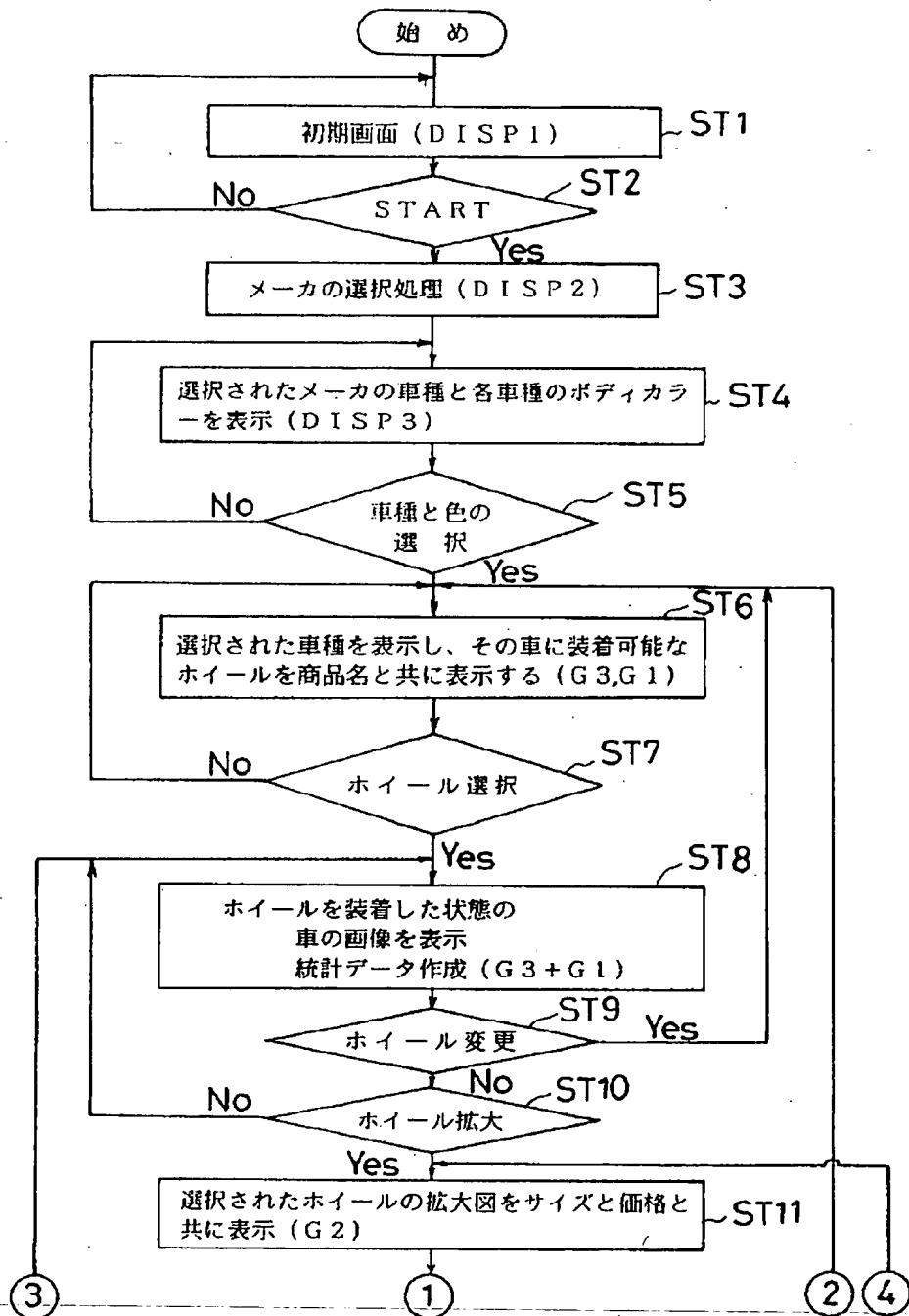
【図8】

	RACING-P SIL	RACING-S SIL	RACING-S BLK	RACING-S RED	RACING-S WHT	WINSOME -CX SIL	WHJ	WHm
000 白										
000 風										
000 銀										
xxx 青										
xxx 白										
xxx 銀										
...										
CAR i								KIJYIJ ZIJ		
...										
CAR n										

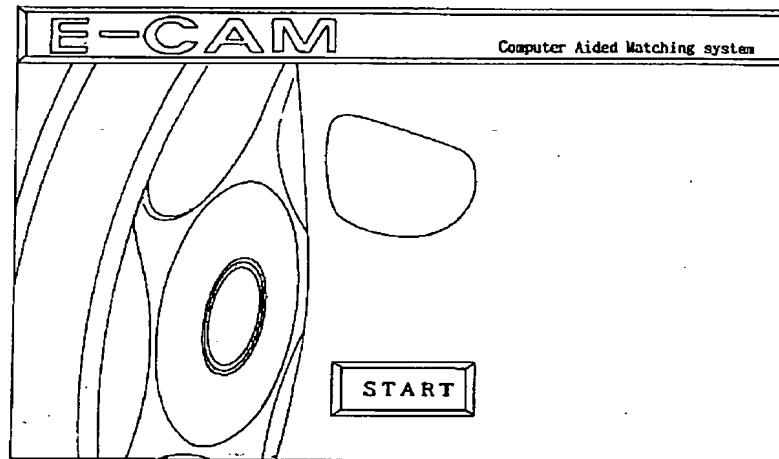
【図15】



【図6】



【図9】



【図10】

お車のメーカー名を押して下さい。

A 社	F 社
B 社	G 社
C 社	H 社
D 社	I 社
E 社	ETC

前の画面へ 終了

【図11】

お車の色を押して下さい。

前の画面へ 終了

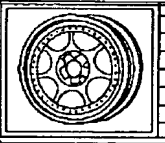
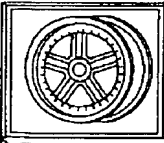
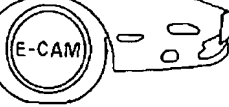
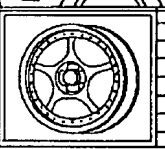
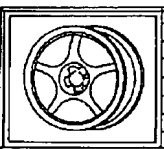
○ ○ ○ ○	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
× × × ×	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
△ △ △ △	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
- - - -	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
- - - -	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

次のページへ

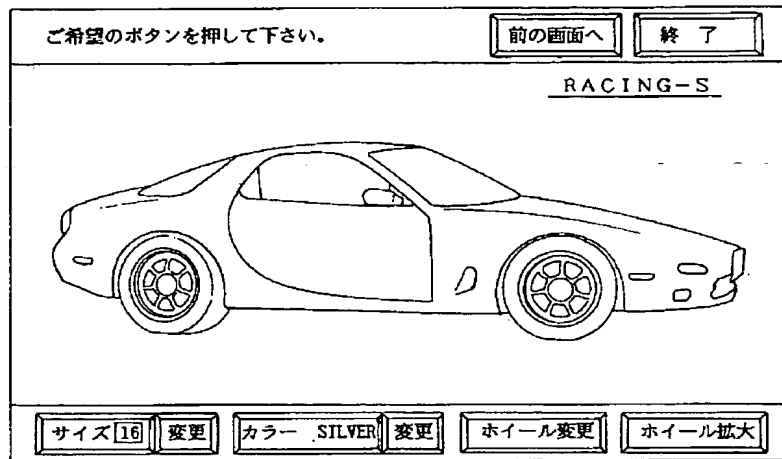
【図12】

ご希望のホイールを押して下さい。

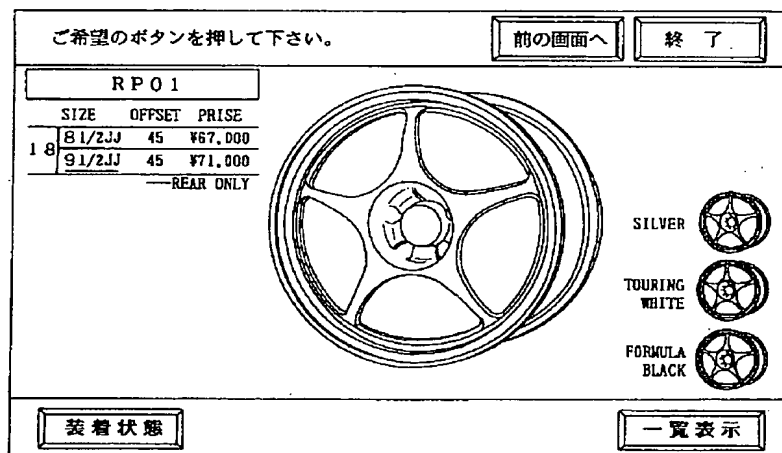
前の画面へ 終了

 RACING-S	 WINSOME	
 RACING PEAKS	 RP01	

【図13】



【図14】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開 平5-174108 (J P, A)
中内淑文, " インダストリアルデザイ
ンにおけるCGプレゼンテーション",
P-I-X-E-L, 図形情報処理センター,
1989年10月号, p. 134-136, 35

(58)調査した分野(Int.Cl.⁵, D B名)
G06F 17/50
J I C S Tファイル (J O I S)